

日タイサステナブルツーリズム推進プロジェクトを開始

タイで環境保全活動の国際交流ができる「日本旅行マングローブの森」「日本旅行の水田」を開設

株式会社日本旅行(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小谷野悦光)は、観光産業として脱炭素社会に貢献することを目的に、日タイ両国におけるサステナブルツーリズム推進の国際協力プロジェクトをスタートさせました。自治体・企業・教育マーケットに対し、タイの環境保全活動に参加することを通じ、環境保全に関するグローバルな視点を提供し、参加者自身の行動変容を促す取り組みです。この度、プログラムの開始にあたり、タイ各地におきまして2件の包括連携協定とカーボンプレジットの購入契約を締結しました。

- ・「日本旅行マングローブの森」を開設
バンパー自然保護センター(タイ・サムットプラカーン県)と包括連携協定を締結
- ・「日本旅行の水田」を開設
稲作を通じたカーボンオフセットを進めるスパンブリー県の農業組合と包括連携協定を締結
- ・アジア最大の製糖企業「Mitr Phol Group (ミトポン社)」よりカーボンプレジットを購入
タイ旅行の往復移動で排出されるCO₂を実質ゼロにするカーボン・オフセットプログラム「海外版 Carbon-Zero(カーボン・ゼロ)」の商品造成を開始 (※) 国内旅行において先行して販売中
※日本旅行の国内版「Carbon-Zero」商品について <https://www.nta.co.jp/kokunai/sdgs/carbonzero/>

→ タイ国政府観光庁のサポートおよび協働にて、本プロジェクトの発信をしていきます。



このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社日本旅行

秘書広報部 広報担当 TEL 03-6895-7860

東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング12階

<参考>



▲バンパー自然保護センターと包括連携協定を締結



▲スパンブリー県の農業組合と包括連携協定を締結



▲マングローブ植林体験の様子



▲植林したマングローブ



▲スパンブリー県知事とスアン・ドゥシット大学にて



▲田植え前の水田



▲ミトポン社のエタノール生産工場を見学



▲ミトポン社の社員が暮らすコミュニティで植樹体験